

●未完了形・接続法の活用

接続法の活用は、以下の表の通りです。
直説法との違いは、<3男単・3女単・2男単・1単・1複>の語末が-aで終わること、
<2女単・双のすべて・3男複・2男複>の語末の ن (na, ni) が消えること(ただし、
<3男複・2男複>の語末には発音されない ا が付加される)です。

	単数	双数	複数
3人称・男性	يـ a	يـ ā	يـ ū
3人称・女性	تـ a	تـ ā	يـ na
2人称・男性	تـ a	تـ ā	تـ ū
2人称・女性	تـ ī		تـ na
1人称	أـ a		نـ a

※ 男性・複数形の後ろに代名詞接尾形がつく場合、語末の ا は書かれません。

●強動詞・第1形の接続法の活用

「書く」という動詞の接続法の活用です。暗記しましょう。

	単数	双数	複数
3人称・男性	يَكْتُبُ yaktuba	يَكْتُبَا yaktubā	يَكْتُبُوا yaktubū
3人称・女性	تَكْتُبُ taktuba	تَكْتُبَا taktubā	يَكْتُبْنَ yaktubna
2人称・男性	تَكْتُبُ taktuba	تَكْتُبَا taktubā	تَكْتُبُوا taktubū
2人称・女性	تَكْتُبِي taktubī		تَكْتُبْنَ taktubna
1人称	أَكْتُبُ 'aktuba		نَكْتُبُ naktuba

●接続法の用法

接続法は、以下に挙げる接続詞の後に置かれ、現実となっていない事柄を表します。

- أَنْ 「～すること」(願望・義務・可能性・命令などの内容を表す)

تُرِيدُ أَنْ تَشْرَبَ الْقَهْوَةَ الْآنَ. 彼女は今コーヒーが飲みたい。
يَجِبُ أَنْ يَذْهَبَ إِلَى الْجَامِعَةِ الْيَوْمَ. 彼は今日大学に行かなければならない。
هَلْ تَسْتَطِيعُ أَنْ تَحْضُرَ الْحَفْلَةَ. あなたはそのパーティーに出席できますか。
- أَلَّا 「～しないこと」(①の否定)

طَلَبْتُ مِنْهُ أَلَّا يَلْعَبَ فِي الْغُرْفَةِ. 私は彼にその部屋で遊ばないよう頼んだ。
- لِكَيْ , كَيْ , لِ «～するために」(目的や理由を表す)

تَدْرُسُ لِتَنْجَحَ فِي الْأَمْتِحَانِ. 彼女は試験に合格するために勉強している。
جَلَسَتْ كَيْ تَقْرَأَ الْجَرِيدَةَ. 彼女は新聞を読むために座った。
- لِكَيْلَا , كَيْلَا 「～しないために」(③の否定)

قَفَلَ الشُّبَّانُ كَيْلَا تَدْخُلَ الرِّيحُ. 彼は風が入らないよう窓を閉めた。
- حَتَّى 「～するために、～するまで」

شَرَحَ الْمَوْضُوعَ حَتَّى يَفْهَمُوهُ. 彼は彼らが理解するまでその問題について説明した。
- لَنْ 「～しないだろう」(未来の否定を表す)

لَنْ يَرْجِعَ إِلَى بَلَدِهِ. 彼は故郷には戻らないだろう。